

(11) 中堅塗料会社の CSR への取り組み

奴間 伸茂^{*1}

1. はじめに

2021 年夏季号から、「持続可能な社会の実現を目指す SDGs」というテーマで、以下のように執筆してきた。

2021 年夏季号；

「(1) まずは SDGs を知り尽くそう 《SDGs 保存版》」

2021 年秋季号；

「(2) ビジネスを持続可能にする SDGs を！」

2022 年新年号；

「(3) 塗料・塗装産業分野における取組とは」

2022 年春季号；

「(4) 線形経済から循環経済へ～限りある資源の効率的な利用を～」

2022 年夏季号；

「(5) さあ、始めよう SDGs ！」

2022 年秋季号；

「(6) まだまだ、これから SDGs ！」

2023 年新年号；

「(7) 原材料メーカーの取組みに学ぼう！」

2023 年夏季号；

「(8) 粘り強く CO₂、VOC の削減を！」

《参考》チャット GPT 注意しつつ有効活用を！」

2023 年秋季号

「(9) すごいぞ！身近な仲間の SDGs の取り組み」

2024 年夏季号

「(10) 感動！「自動車塗装 CN 研究会」の取り組み」

熱心な読者から、新聞、雑誌、インターネット上に CSR や SDGs それに ESG といった環境がらみの略号が溢れているが分かり易く整理して欲しいという声が届いた。

CSR について、経産省のホームページには以下のように記述されている。

《CSR (Corporate Social Responsibility : 「企業の社会的責任」とは、企業が社会や環境と共存し、持続可能な成長を図るため、その活動の影響について責任をとる企業行動であり、企業を取り巻く様々なステークホルダーからの信頼を得るための企業のあり方を指します。

https://www.meti.go.jp/policy/economy/keiei_innovation/kigyoukaikai/index.html》

CSR は日本独自のものではなく、国際標準化機構 (ISO) は 2010 年に正式なガイドラインとして国際規格 ISO26000 を発行している (組織の社会的責任に関する規格。認証規格ではないガイダンス規格である)。

一方、最近新聞紙上で良くお目にかかる ESG は、

環境 (Environment) ・ 社会 (Social) ・ ガバナンス (Governance) の英語の頭文字を合わせた言葉である。

ESG と SDGs は、どちらも環境などへの取り組みという観点から類似したものと捉えられることもあるが、既に 2021 年夏季号で述べたように SDGs が国連にて採択され、国が積極的に進める行動指標・目標であるのに対し、ESG は、企業が取り組むべき課題や経営方針の基準であり、投資家が投資先の企業を選定する際の判断基準でもある。

2. CSR を具体的に学ぼう！

CSR、SDGs、ESG について具体的に研究したい皆さんに是非お勧めしたいのが武蔵塗料ホールディングス株式会社発行の“Musashi Paint Report 2024”である。

https://musashipaint.com/img/MusashiPaintReport_2024_JP.pdf

このレポートの制作責任者である同社の CSR 推進室 室長 山本晴一さんに、“塗料工業分野における CSR ～中堅塗料会社の CSR への取り組み～”と題して本号に投稿していただいた。

“Musashi Paint Report 2024” (以下、本 Report と省略) とあわせて読んでいただけると、CSR、SDGs、ESG について具体的に理解していただけると思う。

3. “Musashi Paint Report 2024”

本 Report の一部を紹介する。

全体は 3 つの Chapter から構成されている。

Chapter 1 経営とサステナビリティ は 4 つの項目に分かれている。

- 1) まず代表取締役社長 福井裕美子さんの「トップコミットメント」である。同社の Corporate Purpose 「色と機能で世界を豊かに」の解説から始まり「サステナブル経営は、自分を好きになることから始まる。」と熱い思いを笑顔で、“ご自分の言葉”で語っていらっしゃる。
- 2) 次に同社グループの歴史と強み、世界 11 か国にわたるグローバルネットワークの説明へと続く。
- 3) 注目していただきたいのは、「経営理念と CSR」である。経営者の思いを込めた企業活動の基盤となる方針である「経営理念」、経営上の方針を示した「社是」、全ての従業員が守るべき理念や心構えを示した 7 項目の「社訓」と 49 項目の考え方は冊子「musashi color」にまとめられ全従業員に配布されている。すべての海外拠点は現地語化され朝礼時の復唱などに活用されている。各拠点から担当者が

^{*1} 塗料塗装技術研究所 代表

参加する経営理念浸透プロジェクト「NIJI project」は家族も参加できる楽しい試みである。

上記の「社是」「社訓」「パーパス」は大切にされている考え方だが、概念的な要素が強い。そこでこれらを実践的なサステナブル経営に結び付けるためにこれらの既存文書を具現化したCSR活動の導入に至った。策定されたCSR方針は前文と具体的な7項目からなる。

同社のCSR活動は「社会にポジティブインパクトをもたらせる（攻めのCSR）活動」と「社会にネガティブインパクトを発生させない（守りのCSR）活動」の2つに大きく分けられる。

社会からの課題を具現化したものと言われているSDGsのうち社会にポジティブインパクトをもたらせる（攻めのCSR）活動として以下の3つの活動項目を掲げて取り組んでいる。

- ・環境重視の商品創出
- ・社会とのコミュニティによる価値創造
- ・従業員のウェルビーイングの追求

一方、社会にネガティブインパクトを発生させない（守りのCSR）活動として以下の7つの活動項目を選定し取り組んでいる。

- ・人権への取り組み
- ・労働安全衛生への取り組み
- ・環境保全への取り組み
- ・品質/安全への取り組み
- ・コンプライアンスへの取り組み
- ・情報セキュリティへの取り組み
- ・リスクマネジメントへの取り組み

以上のCSR活動10項目と主に担当する部門およびステークホルダーとの関係を明確にしている。

同社グループは10項目の具体的内容を記載した「Musashi Sustainability Guide」を発行しCSR啓発教育に力を入れている。

4) ~ CSRのその先に~サステナブルな価値創造を目指す

「重要課題→ビジネス基盤→output→価値創造」を明確にした「価値創造モデル」を全従業員が理解した上で日々の業務に取り組むことが重要と考えている。

SDGsのゴール達成にも貢献するものである。

Chapter 2 攻めのCSR活動~社会の期待に応える~は3つの項目に分かれている。

- 1) 環境重視の商品創出では、「バイオペイント」、「型内塗料」、「メッキ塗装システム インジウム塗料」、「UV塗料 水系塗料」について分かりやすく紹介されている。
- 2) 社会とのコミュニティによる価値創造 未来社会の産業構造に変革をもたらせる製品では、「MATSURIへの参画~微細藻類由来のバイオペイントの開発~」、「株式会社TBM~環境配慮製品の

共創~」、「自社製品を用いて地域を活性化（日本）」、「バス停の塗装による地域環境整備（韓国）」、「障がい者のための新たな雇用機会の創出（中国・天津）」、「社内フリーマーケットの開催（日本、韓国）」、「子供たちと共に（ベトナム・ハノイ、ホーチミン）」などの取り組みを紹介している。

さらに、世界各拠点での「寄付活動・地域清掃活動・献血」、「他社の救援活動サポート（中国・蘇州）」などを紹介している。

- 3) 従業員のウェルビーイングの追求では「働きがいのある労務管理を構築する」をめざして、「Continuous Service Award（グループ永年勤続表彰）」、「5S Activity Award」、「Musashi Global Awards」、「フレックス勤務と在宅勤務の併用（導入試験段階）」、「時間単位休暇制度の導入」、「育児短時間勤務制度の範囲拡大」などの取り組みを紹介している。

Chapter 3 守りのCSR活動~企業としての責任~

以下の7項目にわたってゴールと取り組みについて明確に述べている。3)について詳しく紹介する。

- 1) 人権への取り組み
- 2) 労働安全衛生への取り組み
- 3) 環境保全への取り組み
目指すゴールは、
① 2050年までにScope1とScope2のカーボンニュートラルを達成する
② 2030年までにゼロエミッションを達成する
これを実現するために、同社グループの企業活動によるCO₂排出量の把握から取り組みを始めている。
・まずは日本拠点のScope1、Scope2、Scope3について算出の根拠を明確にしてCO₂排出量を求めた。
・国内外各生産拠点の電力使用量とCO₂排出量の実態把握（2022年）を実施
・CO₂排出量削減への取り組みの実施
・CO₂排出量削減に向けた具体的な活動事例の紹介
- 4) 品質・安全（化学物質管理）への取り組み
- 5) コンプライアンスへの取り組み
- 6) リスクマネジメントへの取り組み
- 7) 情報セキュリティへの取り組み

最後に、経営目標とCSR・SDGsの関係を簡潔にまとめている。

以上、皆さんにはぜひ実際に本Reportを読んでいただき、CSRとSDGsの関係を明確にしてください。

また、Scope1、Scope2、Scope3をきちんと算出し、2030年までにゼロエミッションを達成することを目指している企業姿勢はESGの観点からも評価できる。是非参考にしてください。

塗料工業分野における CSR ～中堅塗料会社の CSR への取り組み～

山本 晴一*

1. 弊社について

武蔵塗料（以下弊社と略）は、1958（昭和33）年に創業した塗料の製造と販売を手掛ける会社です。現在はプラスチック用コーティング材が事業の基幹であり、自動車、家電、ゲーム機など幅広い分野に参入しています。また、世界に13の製造拠点を有し、多くのグローバルトップ企業様とも取引をいただいています。

弊社は2023年1月にCSR推進室を設立し、CSRへの取り組みをスタートしました。ただし、それまで何も取り組んでいなかったというわけではなく、品質、環境、労働安全衛生など個別の取り組みは行っていましたが、経営環境の多様な変化を鑑み、CSRに軸足を移しました。

2. CSR とステークホルダー

そもそもCSRとは何でしょうか？CSRはCorporate Social Responsibilityの略で、直訳すると「企業の社会的責任」となり、企業が社会や環境に対して責任を果たす考えです。一方、ResponsibilityをResponse（応える）とAbility（能力）に分解して、「企業が社会の要求に応える力」と唱える専門家もおられます。

ではここで指す社会とは何かということになりますが、企業は単独では存在することはできず、多くの利害関係者とのつながりの中で存在しています。これらの利害関係者のことをステークホルダーと称しています。自社とステークホルダーの関係は表1にまとめていますのでご参照ください。ステークホルダーの中でも以前は株主重視でありましたが、最近ではすべてのステークホルダーとの関係を重視し、企業活動を通じ

表1 ステークホルダーと自社の関係

ステークホルダー	ステークホルダー→自社	自社→ステークホルダー
顧客	製品対価の支払い	約束に沿った製品の納入
	顧客は会社の売上・利益に直結するステークホルダーです 品質・納期・コストの対応は言うに及ばず、顧客とともにその先の消費者を意識した共通価値の創造をめざすことでより関係を深めます	
仕入先・協力会社	原材料・受託依頼品の納入	納品対価の支払い
	仕入先や協力会社の協力なくして顧客への製品納入はできません 協力をいただくためには公正な取引の継続が重要です	
行政	事業関連の許認可	法令の順守、納税
	企業が事業活動を行う上では、行政機関より許認可が必要で 許認可を取得・維持するために関係する法規制の順守が必要です	
業界団体	情報提供、指導的機関との折衝窓口	業界ルールの順守、調査協力業界活動への参加
	個社では規模が小さいため難しい対応でも、業界で協力し合うことで達成が可能となる場合があります	
従業員	労力の提供	賃金の支払い・雇用
	従業員は最も重視すべきステークホルダーです 従業員のモチベーション向上が事業の活性化につながります 企業は従業員が働きやすい環境を提供し続けることが重要です	
	活動支援要請	資金・活動場所の提供
非営利組織（NPO など）	非営利組織は行政機関や地域とのパイプが太いことから、企業としてこのパイプを活用してwin-winの関係を構築していくことが大切です	
地域住民	社会貢献、環境保全の要求	利益還元、雇用創出、環境保全
	地域住民に迷惑をかける行為を行えば、その地域での事業継続は難しくなります 逆に地域から好まれる事業活動を行うことで求人活動を円滑にし、人財の確保につながります	
株主・投資家・金融機関	資金提供	利益還元
	適切な判断のため、自社の正確な情報開示が関係の基本となります	

* 武蔵塗料ホールディングス株式会社 CSR推進室 室長

てステークホルダーへの貢献をめざす考えにシフトしています。企業が今後も社会の一員であり続けるためには、様々なステークホルダーの声に耳を傾け、ステークホルダーの期待に応える企業活動に取り組んでいく必要があるのです。この取り組みこそがCSRです。

3. 企業におけるCSRの位置づけ

多くの企業では、「経営理念」が設定されています。また企業によって「社是」、「社訓」、「パーパス」なども設定されている場合があると思います。しかしながら、これらに記載された言語は概念的であり、具体的に何を行えばよいかは明確でないことが多いです。

これを具現化したものがCSRであり、図1のようにCSRに取り組むことでサステナブル経営^{脚注1)}につながるものと考えています。

4. CSRの2つの側面と企業価値

一般的な考えかどうかは別として、弊社では図2に示す“CSRを二つの側面”から捉えています。先ほど

「企業が今後も社会の一員であり続ける」、「サステナブル経営につなげる」ためにCSRに取り組むと記載しましたが、これらは結果論であり直接の目的は“自社の企業価値の維持・向上”であります。



図2 CSRの2つの側面

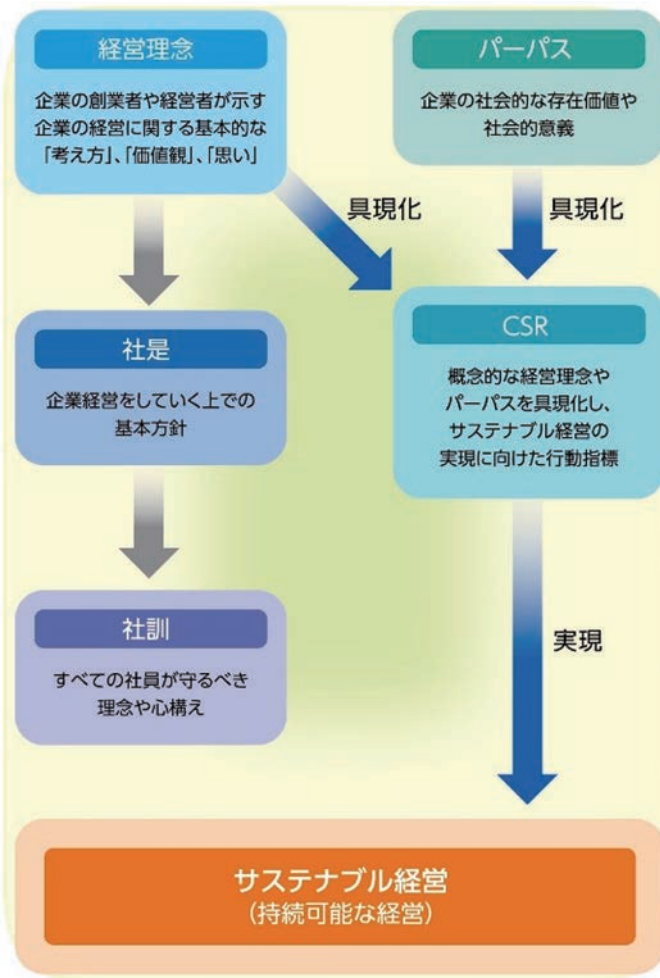


図1 CSR体系図

脚注1) サステナブル(サステナビリティ)経営:企業が環境保護、社会貢献、経済成長を同時に達成し、「企業の社会的責任」と「ビジネスの持続可能性」を両立させるための戦略的な経営手法のことです。

なお、図2におけるCSVとはCreating Shared Valueの略で日本語では「共通価値の創造」と呼ばれ、2011年にハーバードビジネススクールの教授であるマイケル・E・ポーター氏とマーク・R・クラマー研究員が発表した論文で提唱された自社の強みを用いて社会的課題の解決をめざす考え方のことです。

図2のように企業価値の維持・向上を図るには、企業価値を下げない・維持するための取り組みと企業価値を向上させるための取り組みの両方の側面からCSRを推進していく必要があります。前者が「自社の企業活動が社会（人や地球）に迷惑をかけないために行う取り組み」に対して後者は「自社の企業活動が社会とwin-winの関係を構築するために行う取り組み」となります。

5. 具体的な取り組み事例

では、弊社の取り組み事例をもとに説明させていただきますが、個社それぞれの特性は異なりますので、あくまでも参考として捉えていただくようお願いいたします。

CSRの取り組みを始めるには、CSRで自社が取り組む重要課題（これをマテリアリティと言います）の設定を行います。設定方法は社会の要求事項と自社の課題をマトリックス図で示して、ともに重要性の高い中から選定する方法などがありますが、弊社は次のようにして設定しました。

1) 守りのCSRへの取り組み

“企業はこうあるべき”と記載された文書は多くあります。例えば世界的なイニシアティブとして国連グローバル・コンパクトがあります。この国連グローバル・コンパクトは10の原則から構成され

ています。またこれを受けて日本では経団連による企業行動憲章が設定されています。さらにグローバル企業向けのOECD多国籍企業行動指針、CSRのガイダンスであるISO26000など、弊社はこれら自社の事業に関係するそれぞれの内容を確認して、取り組み内容を決定しました。

その一方で最近では、企業価値の評価は企業単体ではなく、自社の事業に関連する企業（これをサプライチェーンと言います）も含めた評価に移行しています。例えば、自社の購入先が強制労働や児童労働など人権を阻害する行為を行っている場合は、自社もまたこれらの行動に間接的に関与した企業とみなされ、社会から批判や制裁（例えば不買運動）を受けるケースが発生しています。このため、特に下流側（顧客）は上流側（供給先）に対しCSR調査を行う場合があります。業界により若干内容に差はありますが、RBA（Responsible Business Alliance）、JEITA（電子情報産業技術協会）、JAPIA（日本自動車部品工業会）、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンの調査票などがその事例です。弊社は取り組み内容の設定に際し、これら調査票にも対応できるように考慮しました。

2) 攻めのCSRへの取り組み（CSRとSDGsの関係）

2項でCSVを取り上げましたが、CSV自体は概念的でありこれを具現化したものの一つがSDGsと言われています。SDGsはSustainable Development Goalsの略で日本語では「持続可能な開発目標」と言われ、世界の“困りごと”を17のゴールと169のターゲットで示し、2030年までに達成することをめざしています。169のターゲットのどれ一つを



図3 守りのCSR 7項目と攻めのCSR 3項目

とって世界の超巨大企業すら解決することのできない大きな課題であります。よって弊社のような規模の企業ではターゲットそのものではなくても、ターゲットに関連する課題を取り上げ自社なりに対応していく形が好ましいと考えました。

以上の結果から、弊社は図3に記載した守りのCSR 7項目（人権、労働安全衛生、環境保全、品質・安全性、コンプライアンス、情報セキュリティ、リスクマネジメント）と攻めのCSR 3項目（環境重視の商品創出、社会とのコミュニティによる価値創造、従業員のウェルビーイングの追求）を設定してCSRに取り組んでいます。

6. CSR と ESG の関係

皆様の中には ESG という言葉をよく耳にされる方も多くおられると思います。CSR、SDGs の他に ESG にも取り組まなければならないのかと億劫に思われるかも知れませんが、実はこれらはすべて CSR に取り組むことでつながっております。

ESG は Environment（環境）、Social（社会）、Governance（企業統治）の頭文字を合わせた“投資家視点”の用語です。気候変動や人権などの世界的な社会問題が顕在化している中、これらの問題に対応できていない企業は、投資家などから企業価値毀損のリスクを抱えているとみなされます。

CSR はこれに絶対取り組まなければならないという決まりはありませんが、社会の要求を考慮したうえで取り組み内容を設定しますので、先ほど述べた気候変動対策や人権問題対応など社会が重要と考える内容は必然と含まれてくることになります。投資家としては投資先選定に向け企業活動を評価する必要がありますので、アナリストが企業の発信する情報を分析して点数付けやランキングを行っています。よって情報を発信する側（各企業）は自社で取り組んでいる内容を ESG や SDGs のどれと関連しているかを CSR 報告書などで明記している場合が多いです。

その一例として弊社は CSR の取り組みの一つに環境保全を取り上げています。弊社は塗料メーカーです

ので製造や化学物質を取り扱ううえで、特に環境保全は重要な CSR の取り組みです。環境保全の一つに気候変動対策としての CO₂ 排出量の削減があります。削減に向けてはまずは自社の企業活動による CO₂ 排出量を把握し、ターゲットを定めて削減対策を行っていく必要があります。弊社のこの取り組みに関しては第7項に記載の弊社 CSR 報告書（P36～38）に記載していますので、そちらも合わせてご覧いただければと思います。

7. CSR の浸透と外部への情報発信

CSR への取り組みは特定の組織や個人だけが行うものではありません。経営層の強い意志と従業員全員で取り組む姿勢があつてこそ推進できると考えています。弊社の CSR への取り組みは経営トップの意向から始まりましたので、あとはいかにして従業員の皆さんの意識に CSR を浸透させるかが大きな課題であります。

具体的な行動として、CSR 方針を含め設定した 10 項目（守り 7 項目、攻め 3 項目）について弊社の取り組み姿勢や考え方を示した各方針を策定しました。その後、従業員に対し CSR や各項目に取り組むための詳細な内容を取りまとめた「Musashi Sustainability Guide」を発行（図4）し、日本拠点を皮切りに弊社海外拠点すべてで説明会を実施し、CSR 導入時における啓発活動を行いました。現在、この「Musashi Sustainability Guide」は日本語の他に英語、中国語、ベトナム語、ハンガリー語、韓国語（作業中）に翻訳され、グループ全従業員が携える形をめざしています。

また、CSR 取り組みの目的である企業価値の向上については、弊社の CSR 活動の外部への情報発信が必須となります。このため、弊社は 2023 年の 1 年間に取り組んだ CSR 活動をまとめた弊社としては第 1 回目となる CSR 報告書を 2024 年 6 月に発行いたしました。現在は弊社 HP にて日本語の他に英語、中国語でも閲覧できるようにしています。第 1 回目の報告書は弊社の CSR 活動の紹介が主体となりましたが、2025 年発行の第 2 回目では活動した結果などについても報告する予定です。



図4 Musashi Sustainability Guide 表紙、目次

(弊社 2024 年 CSR 報告書 URL と QR コード)



https://musashipaint.com/assets/pdf/csr/MusashiPaintReport_2024_2p.pdf

8. 最後に

塗料業界でもプライム市場企業やスタンダード市場企業の一部で CSR 報告書から統合報告書やサステナビリティ報告書にシフトしています。非財務情報が主

体の報告書から、これらの活動が財務にどのようにつながっているかを開示する流れです。弊社も 2026 年からはこの方向に変換していきたいと捉えています。ただし、弊社は株式を上場していませんので、一般的な報告書（右に倣え）に縛られることなく、自由度をもって“武蔵塗料らしさ”が表現できるツールでもありたいと考えています。

最後に CSR で取り組み内容は決して目新しいものではなく、“当たり前”のことを会社全体の視点からまとめていくものです。大切なポイントは今まで意識していなかった“当たり前”が、経営層を含む全従業員が意識しながら企業活動を行っていくことと思います。

以上、皆様が CSR を取り組まれるに際して一助になれば幸いです。

On demand powder coatings
conall[®]
 コナール

環境にやさしい、小ロット短納期、オンデマンドオーダー粉体塗料・コナール

- 1 ケース 5kg からの指定色を製造[※]
- ご希望の色を忠実に再現
- 鮮鋭性・平滑性にすぐれ、美しい仕上がり
- 短納期

用途に応じた、豊富なラインナップ

標準タイプ	スーパーコナール	FL フッ素	屋外用最高級グレード。最高ランクの耐候性を有するフッ素樹脂粉体塗料です。
	ハイパーコナール	FH フッ素ポリエステル	屋外用高級グレード。フッ素樹脂を使いコストパフォーマンスに優れた中間グレード。
	コナール	PK 高耐候ポリエステル	1 ランク上の屋外用。耐候性と付着性のバランスが取れた使いやすい粉体塗料です。
		PU ポリエステル	一般屋外用。平滑性に優れ艶有から 3 分艶有まで調整可能です。
		PH ポリエステル	一般屋外用低温型、160°C×20分での焼付が可能です。焼付時にヤニが出ません。
		HT エポキシポリエステル	一般屋内用。強靱で鮮鋭性に優れた塗膜です。
		HL エポキシポリエステル	一般屋内用低温型、150°C×20分での焼付が可能です。
意匠性タイプ	コナール	ウェーブ	意匠性凹凸模様。溶剤系では表現できない立体的な模様で、重厚感と高級感を演出します。
		メタリック	ボンディングタイプ。溶剤系とは違うメタリックで重厚感と高級感を演出し、塗装も容易です。
		スリックスエード	新たな色彩表現となめらかな感触で商品に新しい可能性を開きます。
	コナールトーン	ハンマートーン	ハンマートーン模様。溶剤系でも長く親しまれてきたハンマートーンです。模様再現性は溶剤に比較して容易です。
		リンクルトーン	リンクル模様。縮み、チリメン、リンクルなど溶剤系でも様々な名称で親しまれてきました。粉体の模様は溶剤と比較して緻密で均一になります。
		スネークトーン	スネーク模様。リンクルトーンに似ていますが、まさに蛇革です。色を工夫することで斬新なイメージを与えることができます。
		アンティークトーン	アンティーク模様。粉体塗料独特の模様です。アンティーク、バンビー、フラッシュトーン、ハンマートンなど様々な呼称で呼ばれています。
		キャンディトーン	カラークリヤー。発色・塗装作業性だけでなく塗膜性能にもこだわり、今までのカラークリヤーを凌駕します。
	テラトーン	テラコッタ調模様。南欧素焼風の模様も粉体塗料であれば 1 コートで再現できます。	
	チョコナ	各種	ペットボトル入粉体塗料。即日出荷の 100 色カラーバリエーション。粉体塗料をより多くの人に、より多くのものに。1 本 330gx2 本入りでオンラインショップにて販売中。

※ コナールトーンなど一部の塗料を除きます。詳しくはお問い合わせください。

- 樹脂により艶の調整範囲が異なります。詳しくはお問い合わせください。
- 模様系塗料は、塗装設備・機器の種類、膜厚、焼付条件などで模様の状態が変化することがあります。
- メタリックは、塗装機器の種類、膜厚等により輝度やメタリック感が変わる場合があります。
- キャンディトーンは下地が透ける塗料ですので、下地の状態や膜厚により表情が変わります。



塗料・塗装資材の総合商社
 小ロット溶剤調色
 小ロット粉体製造
 塗装機器・設備のコーディネーター

化学で人と自然の共生する明日へ



株式会社 三王 粉体事業所
 埼玉県草加市弁天 4-17-18
 TEL: 048-931-2001
 FAX: 048-931-2141
 www.san-oh-web.co.jp
 info@san-oh-web.co.jp

快適と信頼が
私たちの商品です。

表面処理の総合商社…



株式会社 **板通**

<http://www.itatsu.co.jp>

本社 〒326-0802 栃木県足利市旭町 553 TEL 0284(41)8181 FAX 0284(41)1250

本部 〒373-0015 群馬県太田市東新町 330 TEL 0276(25)8131 FAX 0276(25)8179

両毛支店/埼玉支店/高崎支店/小山支店/宇都宮支店/水戸支店/東北営業所
フィリピン/タイ/インドネシア/中国

横浜化成株式会社

本 社 ☎108-8388 東京都港区高輪2丁目21番43号 ☎03(5421)8266(大代)
大 阪 支 店 ☎530-0047 大阪市北区西天満5丁目1番9号 ☎06(6364)4981 (代)
千 葉 支 店 ☎263-0001 千葉市稲毛区長沼原町804番地 ☎043(259)2311 (代)
静 岡 営 業 所 ☎422-8067 静岡駿河区南町13番3号(TKビル) ☎054(282)5366 (代)

地球に優しい環境型塗装技術はこれからの優先課題です！！

地球環境に優しい次世代の塗装法 Powder Coating (粉体塗装)

「長さ 17.5m」「重量 2.0t」最先端の生産環境におまかせください。

妥協を許さない信念で、高品質を保ち保ち続けます。

株式会社 明希

代表取締役会長 新井 かおる (薫) 代表取締役社長 新井 裕喜

〒675-1202 兵庫県加古川市八幡町野村字蟹草 616-44

TEL 079-438-2737 (代) FAX 079-438-2771 (代)

HP:<http://www.e-orca.net/~meiki/> Email:meiki_qa@e-orca.net



 城南コーテック株式会社

樹脂からマグネシウムまでをラインシステム化した多量生産方式を採用

新素材をコーティングする

粉体塗装

電着塗装

溶剤塗装

本 社 〒142-0063 東京都品川区荏原 6-17-16 ☎03(3787)0711(代)
上里工場 〒369-0315 埼玉県児玉郡上里町大字大御堂字長久保1450の37 ☎0495(34)0801(代)
児玉工場 〒367-0206 埼玉県本庄市児玉町共栄 800-9 ☎0495(72)6191(代)

ISO 9001・14001 登録企業

アックでは、塗料・塗装方法・設備・機器の提供はもちろん、塗料専門商社としての経験と知識を活かして、皆様が抱える問題に対し、環境時代に最適な「アイデア」を提案します。

環境時代が求める
エコロジカル・
ペインテイニングへ

お客様に「信頼と満足」を
 株式会社アック
www.a-c-c.co.jp

本社/名古屋市港区十一屋2-12 〒455-0831 TEL(052)381-5599
名古屋・小牧・三河・豊川・弥富・浜松・いわき・山口・東京

塗装会社が、
風土改革コンサル
はじめましたw!

自主的考動を育む製造業による働きがい改革

『T-CX』

ツツイ式 企業風土
トランスフォーメーション

自主的に考動できない…

連携できない…

やらされ感…、他人事…

離職が多い…、採用できない…



SDGs、DX、働き方改革をスムーズに運用する為には…

【自主的考動を育むアプローチ】が有効です。

聴く

問う

伝える

待つ

【お客様の声】

- ・社員だけに変化を強いていたことに気づいた。
- ・コーチがいることで実践できるようになった。
- ・ストレス無く、充実した経営ができるようになりました。
- ・家族との関係性も劇的に改善出来ました。

詳しくはT-CXチラシへ!



働きがい改革とわくわくSDGsと粉体塗装のバイオニア

筒井工業株式会社

素材の付加価値を向上する

地球にやさしい粉体塗料

V-PET Series

高意匠性シリーズ 特殊模様粉体塗料

エポキシ/ポリエステル系

V-PET 特殊模様 サテン

落ち着いた高級感あるサテン調仕上げ

エポキシ/ポリエステル系

V-PET 特殊模様 リンクル

立体的な3分つやからグロスの凸凹模様仕上げ

パウダーフロンシリーズ ふっ素粉体塗料

ふっ素樹脂系

パウダーフロンCW

3分つや〜フルグロスまで光沢調整が可能

ふっ素樹脂系

パウダーフロンSELA

ふっ素樹脂とポリエステル樹脂の二層分離形

…彩りに優しさをそえて…
未来へつなぐ

大日本塗料株式会社

DNT
DAI NIPPON TORYO

お問い合わせは
●大阪 ☎06-6266-3134 ●東京 ☎03-5710-4505
●小牧 ☎0568-76-5578 <https://www.dnt.co.jp/>
塗料相談室フリーダイヤル 0120-98-1716

粉体塗装のパイオニア。



独自のパルス制御で美しい仕上がりへ

新製品

Pulse Power 9000 シリーズ



Pulse Power9000S
塗料タンクモデル



Pulse Power9000TS
2丁取塗料タンクモデル



Pulse Power9000B
塗料箱モデル



Pulse Power9000TB
2丁取塗料箱モデル

東京営業 : 03-3278-4800
北関東営業所 : 028-662-7641

名古屋営業所 : 052-823-1751
大阪営業所 : 06-6386-6132

北陸出張所 : 0766-26-5131
九州営業所 : 093-631-7464

